

# 131 キバシリ

(スズメ目)

兵庫県ランク:A

*Certhia familiaris*

繁殖個体群:A 越冬個体群:B 通過個体群:—

環境省ランク:指定なし

## 種の概要

北海道では亜種キタキバシリが、本州、四国、九州では亜種キバシリがそれぞれ留鳥として分布する。兵庫県では局地的ではあるが周年見られる。山地の針葉樹林、針広混交林、落葉広葉樹林に周年生息し、木の割れ目や樹洞に営巣する。樹上で昆虫類やクモ類などを採食する。冬はカラ類の混群に混じることもある。

写真なし

## 国内分布

北海道、南千島、本州、舩倉島、四国、九州

県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認  
(神戸市)、(姫路市)、(養父市)、(宍粟市) ※県内繁殖有



## 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからAランクに変更。  
県北部に少数ながら局地的に生息・繁殖している。最近では観察記録も減少し、さらに個体数が減少していると考えられている。

## 保護上の留意点

本種は深い森林の大径木の上部に好んで生息するため、本種が生息する森林は現状を改変することなく保全すること、また、樹齢の高い大径木の伐採や枯損木の処理を行わないなど森林管理における配慮が重要。